

校庭芝生化地域連携事業の御案内

～芝生の上で地域交流～

維持管理や芝生を活用した文化・スポーツ活動を支援します！

Q 地域連携事業とは？

学校と地域が連携して行う芝生の維持管理活動や芝生を活用した文化・スポーツ活動を通じて、子供たちの健やかな成長や地域の教育力を活性化することを目的とした事業です。

Q 事業の内容は？

以下の要件を満たした公立小・中学校を対象に1校当たり30万円を上限に支援します。

- 学校と地域による「校庭芝生化推進協議会」の設置
【構成例】 学校長、教職員、PTA関係者、町会・自治会長、青少年育成委員 等
- 地域協力者の確保等のコーディネートを行うグリーンリーダーの配置

Q どのような活動に費用を使えますか？

維持管理活動

芝刈り、種まき・肥料まき、ポット苗補植など

- ・肥料、目土など消耗品の購入
- ・軍手、熊手など用具の購入
- ・維持管理の講習会の材料費 など



文化活動

コンサート、野外映画会、野点など

- ・イベント用機材レンタル代 など
(例 プロジェクター)



スポーツ活動

タグラグビー、スナッグゴルフ、校庭キャンプなど

- ・グローブ、ボール、ラインマーカーの購入 など

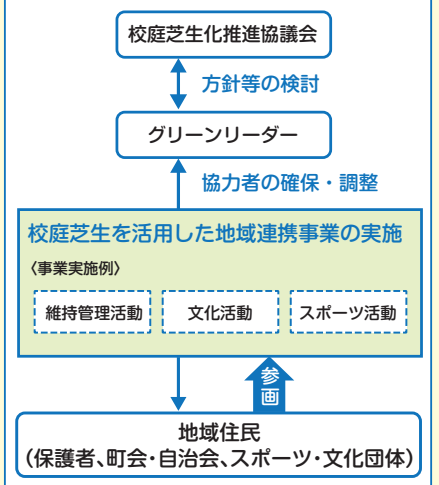


推進協議会の運営

- ・協議会委員や指導者への謝礼
- ・広報誌の印刷 など



校庭芝生化地域連携事業のイメージ図



詳しくは下記までお問い合わせください。

東京都教育庁地域教育支援部義務教育課
校庭芝生化推進担当

TEL.03-5388-3567

地域連携事業を活用した学校の取組を紹介

東村山市立久米川東小学校

地域の力を最大限に生かした事業を展開

久米川東小学校では、校庭芝生化推進協議会とボランティア運営委員会を中心に維持管理活動や芝生を活用した教育活動を行っています。

芝刈りは、児童・保護者・学校の教職員・地域住民が参加し、多い時には100人程が集まります。「初めての人はまず芝刈り機を動かしてみよう！」「雑草が目立ってきたので、雑草抜きに慣れている人は是非力を貸してください！」と呼び掛けます。芝生の校庭に一齐に散らばって、親子で一緒に芝刈り機を押したり、芝でいっぱいになったかごを運んだり、根が張った雑草を抜いたり、「みんなで使う芝生の校庭だから、みんなで大切に育てる」正にその光景が広がります。

グリーンリーダーの柿沼さんは「保護者の会で『一人一役ボランティアに参加しよう』という声掛けがあり、皆さん意欲的にボランティア活動に参加しています。芝刈りは、刈った後に爽快感があると人気の活動です。」と話してくださいました。

久米川東小学校では、地域連携の教育活動として「子ども土曜講座」を約20講座開催し、芝生の校庭も活用しています。スナッグゴルフはその一つで、ゴルフをたしなむ地域の方々が準備からプレイの指導まで携わってくださいます。

芝生の上に旗を立ててロープ

を張り、ミニコースを作ります。準備運動の後、グループに分かれてプレイスタート！自分たちが刈った気持ちの良い芝生の上で、旗を見つめる子供たちの眼差しは真剣そのものです。大人のアドバイスを受けて力加減を調整しながら、ボールがうまくグリーンに乗るとうれしそうに駆け寄っていました。

スポーツのルールを学んだり、地域の方々や他学年と交流することは、子供たちの成長につながります。地域が一緒になって学校の活動を支える、その象徴として久米川東小学校の芝生は今日も青々と輝いています。

児童数：510名(平成28年5月1日現在)
芝生化面積：3,615㎡
芝生が完成した時期：平成19年度



(左から)土曜講座実行委員会委員長の仲さん、グリーンリーダーの柿沼さん、桑名校長、小関副校長



親子で参加する芝刈りの活動



スナッグゴルフに挑戦する子供たち

